

		EZ-WIN総合評価シート				23.4.30 (日) 京都11R G1天皇賞春 芝3200m外A 4上 15:40																	
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重	予想人気	相対指数	春L S血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	2000m以下重賞実績	前走不利	消耗戦/L S戦実績
6	53	×	1	1	栗)ジャスティンパレス	牡	4	58	2	A				4,1	3,7	6,2	40	134	0	C.ル	B		
7	25		1	2	栗)ディーブモンスター	牡	5	58	12					4,5	7,1	6,3	3	51	0	浜中俊			
5	53	○	2	3	美)タイトルホルダー	牡	5	58	1	A	△			1,1	1,15	海外	68	131	0	横山和	A		A
6	16		2	4	栗)メロディーレーン	牝	7	56	16					12,10	2,5	12,11	0	0	0	幸英明		R	
6	14		3	5	栗)アイアンバローズ	牡	6	58	15					7,9	3,14	8,8	0	0	0	坂井瑠			
5	51	×	3	6	美)アスクピクターモア	牡	4	58	5	B	△	馬		9,8	2,4	3,2	8	85	0	横山武	A	TR	
6	45	◎	4	7	栗)ディーブポンド	牡	6	58	7		△	馬		2,5	3,8	海外	12	98	0	和田竜	A		A
10	21		4	8	美)トーセンカンピーナ	牡	7	58	14					16,7	16,8	11,3	3	51	0	岩田望			
10	38	×	5	9	美)ヒュミドル	セ	7	58	9		☆			4,2	16,9	7,10	16	154	0	武豊	B		B
6	39	×	5	10	栗)サンレイポケット	牡	8	58	13		注			8,4	11,9	10,2	0	0	0	M. デ	B	展	B
5	46	×	6	11	栗)ディアスティマ	牡	6	58	10			馬		2,6	1,11	2,9	8	85	0	北村友	B		注
6	30	注	6	12	栗)ブレイクアップ	牡	5	58	4		☆	馬		5,2	2,16	3,11	11	63	0	松山弘	B		A
6	47		7	13	栗)ポルドグフーシュ	牡	4	58	3	A		馬		6,3	14,1	13,1	100	280	0	川田将			
4	54	★	7	14	栗)マテンロウレオ	牡	4	58	8		血	馬		3,10	5,2	10,3	16	124	0	横山典	B		B
4	27		8	15	美)エンドロール	牡	4	58	17					7,1	5,1	8,5	0	535	0	永野猛			
9	40	▲	8	16	栗)シルヴァーソニック	牡	7	58	6		注	馬		海外	3,3	落馬	16	154	0	D. レ			A
6	41	×	8	17	栗)アフリカンゴールド	セ	8	58	11		注	馬		1,6	8,6	1,13	16	124	0	国分恭	B		B

※調教評価に「馬」の印がある馬は、  
調教動画のみを参考にしているプロ馬券師(馬喰=ばくろう)が  
高く評価した馬になります。

リニューアルされた京都外回りコースは、  
4角のコーナー角度が大きく(緩く)なった事で、  
4角への進入速度が高くなり、コーナー手前での  
減速率が低下する傾向が見受けられます。

これにより、ゴールへ向けての加速開始が早くなり  
多頭数のレースではロングスパート戦になりやすくなりました。

また、今年は消耗戦を得意とする逃げ馬のタイトルホルダーと、  
「絶対逃げます」宣言を出したアフリカンゴールドの存在が、  
消耗戦あるいは持続ラップのロングスパート戦を予感させます。

京都開催の天皇賞春においても  
「前走阪神大賞典1着馬」は複勝率50%の好ローテと  
なっておりました。

しかし、今年の阪神大賞典は超スローペースの  
加速ラップ(瞬発戦)でございました。

つまり、今回予想されるラップパターンとは  
真逆のレースであったという事になりますので、  
阪神大賞典で強かった馬を鵜呑みで信じる事に  
少なからず疑問を感じております。

過去に京都で行われた天皇賞春が、  
今年予想されるようなロングスパート戦になった年に

穴をあけていたのは、「母父にトニービン」を持つサンデー系種牡馬の産駒とステイゴールド産駒。

ディーブインパクト産駒の場合は、ニジンスキーやノーザンテーストと言った持久力、底力を強化する血統を色濃く持っていた馬が好走しておりました。

今年の天皇賞春は、トニービン・ノーザンテーストと言った欧州系の持久力・底力を強化された血統馬が恵まれるレースになると予想致します。

該当する血統馬には「春天LS(ロングスパート)血統」の欄に印を入れておきましたのでよろしければご参考に。

また、京都開催の春天では、2000m以下の重賞で3着以内に入った実績や2400m以下の重賞で勝ったような「スピード能力の高さ」も重要になります。

これに該当する馬には「2000m以下重賞実績」の欄に印を入れております。

また、今回予想される「消耗戦・ロングスパート戦」の重賞で好走した実績が有る馬には、「消耗戦/ロングスパート戦実績」の欄に印を入れております。

#### ◎7番ディーブポンド

父:キズナ(ディーブ系)

父母父:ストームキャット(米ストームバード系)

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:カコイーシーズ(米レイズアネイティヴ系)

曾祖母父:ニジンスキー系

父のキズナは、2年連続で1人気を裏切って着外。ただ、ロングスパート戦が向いていたキズナにとって、普通の瞬発戦ラップでは追込みが届かなかった事が最大の敗因であると考えられ、決して距離適性に問題があった訳ではないと考えております。

また、母父のキングヘイローはスプリントタイプの種牡馬ですが、キングヘイローの父ダンシングブレーヴは凱旋門賞馬で、本馬の「長距離適性と勝ち味の遅さ」はダンシングブレーヴの影響であると考えられます。

ラップ的には瞬発戦よりも、長く脚を使うロングスパート戦や消耗戦ラップの方が向いており、3角から下った勢いのまま平坦の直線を走る京都外回りコースは、エンジンの掛かりが遅いこの馬には向いているのではないかと考えます。

陣営は「馬が変わってやる気に満ちている」  
和田騎手は「いい意味でうるさくなった」  
とコメントしており、状態面も上向いているなら

タイトルホルダーよりもコース適性が高そうな  
コチラを本命に推します。

#### ★14番マテンロウレオ

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)

祖母父:米ダンチヒ(ノーザンダンサー系)

曾祖母父:セクレタリアト(米ポールドルーラー系)

母父にトニービンを持つサンデー系種牡馬と  
ブライアンズタイムの組合せは、12年に14人気で  
優勝したビートブラックと同系の配合です。

また、ハーツクライ産駒は京都開催の当レースで  
勝ち馬は出ていないものの、3着以内馬数が最多の8頭と、  
非常にレース相性の良い血統です。

体型的には3200mは長いように映る点と、  
昨年の秋から使い詰めのローテが不安材ですが、  
体型が母父ブライアンズタイムに似ている本馬の場合、  
豊富なスタミナと、使って使って上向く特性も  
遺伝している可能性が高く、ここで狙いたいと考える  
要素のひとつであります。

また、ラップ面におきましても、  
タイトルホルダーが作る流れは向いていると考えております。

そして何よりも・・・

ハーツクライ産駒に、「脚質の変化」が訪れる時は、  
完成期が近い事を示します。

脚質が安定しなかった時期にはG1皐月賞、  
G1ダービーで2桁着順に惨敗していた本馬が、  
安定して好位から競馬出来るようになって、  
G1大阪杯では4着に好走致しました。

完成期を迎えた方に賭けてみる価値があるオッズですな。

#### ○3番タイトルホルダー

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

父母父:サンデーサイレンス

母父:モチベーター(欧サドラーズ系)

祖母父:シャーリーハイツ(欧ネヴァーヴェンド系)

スパイス血統のトニービンとノーザンテーストを内包。

昨年の当レース(阪神開催)の圧勝馬。

母父モチベーターは凱旋門賞馬モンジューの産駒で、

祖母父シャーリーハイツも凱旋門賞馬ミルリーフ産駒。  
間接的ではあるものの、凱旋門賞にゆかりのある  
血統がちりばめられており、自らタフな流れを創り出し  
後続の脚を封じる競馬を身上とするタイプ。

不安材料としては、勝ち星が全て内回りコースのもので  
外回りの直線平坦コースで本馬の競馬がどこまで通じるか？  
と言う点でございましょう。

直線の長さを、必要以上に鞍上が不安視して  
道中のペースを緩める弱気を出してしまうと  
直線で後続に飲み込まれることも考えられます。

#### ▲16番シルヴァーソニック

父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

父母父:メジロマックイーン(欧トウルピヨン系)

母父:トニービン/欧グレイソヴリン系

祖母父:欧リファール/ノーザンダンサー系

ステイゴールドとトニービンのコラボ配合馬。

昨年の当レースでは、スタートで川田殿が落っこちて  
競走中止にはなりましたが、入線順位は小差の2位でした。

斤量0キロという特殊な条件下での結果でしたが、  
長距離戦で空馬が最後まで自分でレースを運ぶのは  
非常に稀なケースで、頭の良さと距離適性の高さ、  
能力の高さを感じます。

2400m以下の重賞には出走経験がありませんが、  
半兄のキャプテントウーレは皐月賞馬であり、  
半姉のアルティマトウーレは1200m重賞2勝馬。  
近親にも2000m以下の重賞ウイナーが名を連ねる  
スピード能力の高い一族なので、特に問題はないと考えます。

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:1・3・6・14

くまもん馬券

複勝:14番

ワイド:14-1・3・6・7・12・16

3連複:14-1・3・6・7・12・16

単勝:7番

馬連:7-1・3・6・12・14・16

3連複フォーメーション30点

7-3・12・14・16-印全頭

E Z - W I N総合評価シート		23.4.30 (日)新潟11R 谷川岳S 芝1600m外B 4上OPL別定 15:20																					
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	相対指数	同条件血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	ローテ評価/レシ等
7	27	★	1	1	美)アオイクレアトール	牡	6	57	10		注		E	10,4	12,2	6,18	10	54	13	丹内祐	古賀慎	展	
5	36	▲	2	2	栗)グレイイングリーン	牡	5	57	6	C	注	▲	D	12,2	12,2	12,6	12	80	13	荻野極	池江泰	R	
7	37	◎	3	3	美)ココロノトウダイ	牡	6	58	3	B	△		C+	3,8	8,2	4,7	11	45	32	丸山元	手塚貴		
2	32	注	3	4	栗)ブルバレイ	セ	4	58	12		注			12,5	2,18	15,2	19	118	11	富田暁	須貝尚		
26	30	○	4	5	栗)アドマイヤビルゴ	牡	6	60	4	A	△			1,7	3,7	6,15	22	58	13	今村聖	友道康		
11	52	×	4	6	栗)ピースオブエイト	牡	4	58	1	A				2,8	1,12	12,2	67	100	37	吉田隼	奥村豊		
5	30		5	7	栗)ノルカソルカ	牡	6	57	8	B				1,14	1,11	2,12	15	82	13	横山琉	藤岡健		
5	14	×	5	8	栗)ヴィジュネル	牡	5	57	7	B				7,8	3,10	9,6	11	122	13	角田大	渡辺薫		
6	15		6	9	栗)エンデュミオン	牡	6	57	13					15,5	2,15	14,4	5	278	0	秋山真	清水久	展	
7	14		6	10	美)アルピニズム	牡	6	57	14		△			6,6	16,3	12,7	10	53	1	武藤雅	金成貴	展	
58	28	×	7	11	美)アライパル	牡	4	57	2		注			2,4	6,4	7,3	100	150	47	石橋脩	栗田徹		
2	30		7	12	栗)アナゴサン	牡	5	57	9	A				1,3	3,9	6,3	9	177	13	小崎綾	牧田和		
3	23		8	13	美)ワーケア	牡	6	57	11					9,8	6,11	9,3	15	112	10	嶋田純	手塚貴	R	
3	25		8	14	栗)フラーズダルム	牝	5	55	5	C				10,2	11,1	12,6	9	80	13	亀田温	松永昌	展	

OPクラスの新潟1600mでは、  
 スプリント血統でスピードを強化された血統馬か、  
 フランスのマイル以下のG1レースで好走した馬を  
 母系に持つ「長い直線に耐える持久力」を強化された  
 血統馬の好走が目立ちます。

#### ◎3番ココロノトウダイ

父:エイシンフラッシュ(欧キングマンボ系)

母父:アグネスタキオン(Pサンデー系)

祖母父:ヌレイエフ(欧ノーザンダンサー系)

トウザヴィクトリーなどG1馬を輩出したフェアリードール牝系。

アグネスタキオンは、母系に入って  
 持続力を強化する血統です。

近走逃げ経験馬が4頭揃い、  
 持続ラップで末脚を活かした2走前の再現に期待。

#### ★1番アオイクレアトール

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:アグネスタキオン(Pサンデー系)

祖母父:ハイエストオーナー(欧グレイソヴリン系)

母父に持続力強化のアグネスタキオン。  
 祖母父のハイエストオーナーは、仏国ロンシャン競馬場の  
 1800m以下のG1で3連対した持久力に富む  
 グレイソヴリン系の種牡馬です。

※ロンシャン競馬場は、530mの直線の前に  
 フォルスストレートと呼ばれる直線があり、  
 新潟以上に直線が長い特殊なコースで、

並外れた持久力を求められるコースです。

本馬は、持続ラップで長く脚を使えるのが長所で、  
昨年のこのレース4着は、スローペースの瞬発戦での結果。

ペースが流れれば、◎とセットで馬券に絡みます(妄想)

馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:2・3・6

くまもん馬券

複勝:1番

ワイド:1-2・3・4・5

馬連:3-1・2・4・5・6・8・11

3連複フォーメーション18点

3-1・2・4・5-印全頭

EZ-WIN総合評価シート			23.4.30 (日) 東京11R スイートピーS 芝1800m A 3歳牝OPL 15:30																			
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	同条件血統	最終調教評価	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	前走傾向評価
5	26	△	1	1	栗)タガノシャーンズ	牝3	54	4	A				4,3	2,1		27	76	17	北村宏	中尾秀	R	
15	18		2	2	美)コウセイマリア	牝3	54	13	B				8,10	10,5	12,2	2	54	1	大野拓	和田雄		
3	20		3	3	栗)ベレザニーニャ	牝3	54	12	B				2,6	3,7	3,2	0	0	2	内田博	小崎憲		
6	24		4	4	美)ミカッテヨンデイイ	牝3	54	11	B				7,16	14,4	12,9	19	151	8	松岡正	堀内岳	R	
5	39	△	4	5	栗)アリスヴェリテ	牝3	54	1	A				7,1	5,10	3,9	55	92	42	田辺裕	中竹和	R	
2	16		5	6	栗)トリプルループ	牝3	54	10			▲		地方	10,6	地方	0	0	8	戸崎圭	森秀行		
5	38	▲	5	7	栗)アグラシアド	牝3	54	2	B		C		9,2	5,2	5,1	44	92	46	津村明	中村	R	
3	24		6	8	栗)メランボジューム	牝3	54	6					5,3	7,2	13,1	7	64	8	岩田康	高野友		
11	32	◎	6	9	美)リックスター	牝3	54	5	A	注			5,11	6,6	2,5	9	59	8	柴田善	鹿戸雄		A
2	23		7	10	美)エリダヌス	牝3	54	9					5,2	5,7	6,12	12	122	7	柴田大	青木孝		B
3	31	注	7	11	美)ヴァイルマティ	牝3	54	8		注			2,2	10,4	14,2	12	122	7	石川裕	鹿戸雄		B
6	29	注	8	12	美)セリオース	牝3	54	7	A	注			10,14	10,1		11	108	8	三浦皇	高柳瑞	R	
11	27	○	8	13	美)ウヴァロヴァイト	牝3	54	3	C				3,12	4,1	4,2	0	0	17	菅原明	萩原清	展	B

リストッド競走に指定された過去4年のスイートピーSは、父か母父にロベルト系を持つ馬が4頭馬券に絡みました。  
※該当する血統馬には「同条件血統欄」に印を入れました。

また、前走傾向としては、前走が1800~2000mの未勝利戦だった馬が4頭の馬券絡み。  
前走が1600mのG3だった馬は3頭出走してパーフェクト。  
※該当馬には「前走傾向評価欄」に印を付けました。

#### ◎9番リックスター

父:エピファネイア(欧ロベルト系)

母父:ハーツクライ(Tサンデー系)

祖母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

ダービー馬ワグネリアンを出したブロードアピール牝系。

近2走は忙しい競馬で、特に前走は道中で12秒台のラップが一度もない厳しい流れが合いませんでした。

逃げ馬不在のメンバーで、

近走よりも追走が楽になりそうなココは

巻き返す可能性十分です。

#### 馬券

EZ-WIN推奨馬券

馬連ボックス:5・7・9

くまもん馬券

馬連・3連複:9-1・5・7・11・12・13

## EZ-WIN予想の馬券構築について

EZ-WIN予想に打っている印によって  
おススメの馬券は、以下の通りとなります。

馬連

◎から流し。相手は○▲★☆☆△

通常は4～5点になります。

3連複フォーメーション

買目平均は30点前後になりますが

10万級の大きな馬券を取りこぼして悔しい思いを  
しない為には、トリガミの覚悟も必要です。

1列目：◎

2列目：○▲★☆☆△

3列目：印全頭

ワイド

★ー◎○▲

★の単複